

国選択無形民俗文化財 東近江市制20周年記念

# 「20畳敷東近江大凧」

▽大きさ：縦 5.0m 横 4.7m

▽名称（判じもん）

## 「奉祝 東近江」



東近江市の地域文化である東近江大凧は、江戸時代中頃から5月の節句に男子出生を祝って揚げられたのが始まりで、以来、祝い凧、願い凧として地方や国の大きな記念行事などに揚げられてきました。

本年2月11日に東近江市が誕生して20年を迎えます。吉例に従いお祝いの大凧を製作して飛揚することで、未来に向けて思いを馳せ、東近江市の益々の発展を祈念するものです。

お祝いの大凧のはんじもんは、上部に鳳凰、下部に「祝」の文字、中央に「東近江」を配し、「奉祝 東近江」となります。

「祝」と「東近江」の文字については小椋正清東近江市長に腕を振るっていただきました。



飛揚日：令和7年 2月11日（祝・火）会場：東近江市立聖徳中学校グラウンド